



わいわい
子ども食堂

通信

夏やすみだ！ シャンティさんと 大さわぎ



ありがとう。
名古屋市
文化振興事
業団様

8月21日 すまいるハートビルワイ
ワイルームでわいわい子ども食堂の夏
休みお楽しみ企画を開催しました。シャ
ンティさんの手品や様々なパフォーマンス
に子どもたちの歓声が上がリ、たくさ
んの笑顔が溢れました。
今回の企画は、名古屋市文化振興事
業団さんの「こどもTOUCH」という
新事業で子どもたちに楽器演奏や演劇
などなどの文化芸術を生で見てもらっ
た機会を提供するという事業です。
夏休みお弁当の日に合わせてお願いし
ました。楽しい時間を過ごした後、お弁
当とパスコさん提供のパンの配布を行
いました。



8月の子ども食堂にて、NPO法人むすびえ「全国子ども食堂支援センター」の呼びかけで、子ども食堂利用者の意識に関する定量調査を実施しました。日本福祉大学の中村強士准教授のゼミ生たちが調査を全面的に引き受けてくださいました。

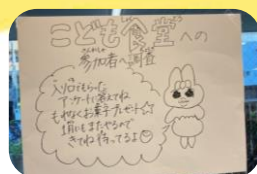
アンケートを出したらお菓子すくいの土産付きでした。半年後の来年1月にも同じ調査を行います。



★今回、わいわい子ども食堂に参加させていただき、とても良い経験になったと感じています。このわいわい子ども食堂が私にとって初めて子ども食堂と関わる機会でしたので、たくさんさんの学びをさせていただきました。特に、小学生以外にも未就学児や高齢の方々もたくさん来ている様子を見て、全ての人の居場所なのだと感じる事が出来ました。食堂の雰囲気もとてもよく、とても居心地が良かったです。居心地いい空間だからこそ、何度も来てくれる子どもたちが多いのだなと感じることが出来ました。アンケートの一環としてお菓子すくいも子どもたちにも楽しんでもらえてとても良かったです。また機会があれば参加させていたきたいと思えます。

日本福祉大学2年 澤山陽咲

学生さんの感想から



★私自身、近くに子ども食堂がなかったため、食へに行ったことも、ボランティアに出向いたこともありませんでした。今回、わいわい子ども食堂さんで、利用者調査を行うことを聞き、はじめは“どのような雰囲気で開催されているのか”、“子どもたち、親御さん、地域の方たちの楽しそうな姿を見たい”という思いから参加しました

様子を見てみると、小さな子どもから高齢の方まで、笑顔で食事をする姿があり、素敵な空間だなという印象を持ちました。子どもたちと話していると、「隣の友だちは、隣の小学校で、ここで仲良くなった」ということを教えてもらいました。新しい出会いの場にもなり、地域の方とも話すきっかけになる子ども食堂は地域の居場所であることが再認識できました。

日本福祉大 2年

石田梨愛

アンケート記入する親子



食堂開催日程

「上飯田」

めいほくわいわい食堂
みなみまち

9月11日(水)
福祉センター 一階

11時30分～19時
「あじま」

あじまわいわい食堂

楠地区会館二階

9月14日(土)
11時30分～13時

「上飯田」

フードステーション

お休みです